

豊かな自然と伝統文化を継承する郷

夏山学区

NATSUYAMA



夏山川ぴかぴか祭り

小学校と地域が連携し、総合学習、美化活動、交流の場となっている夏の恒例行事。“ぴかぴか”の言葉には「夏山川がいつまでもきれいであってほしい」との子どもたちの願いが込められ、学習成果発表、川の清掃、川遊びを通して、その願いを受け継いでいます。



総合学習「生き物による水質調査」では、市の調査担当者から「きれいな川にしか棲まない水生生物がたくさん見つかるね」と、お褒めの言葉をいただきます。今の子どもたちの大切な宝物である夏山川が、将来の子どもたちにとっても宝物であり続けてほしいと願っています。 —夏山小学校校長

夏山小の

夏山川の好きなところ BEST 3

- NO.1 生きものがたくさんいるところ**
 - ・こんな生きものたちがいるよ！
 - ・サワガニ、ゲンジボタル、カワニナ、シマジョウウ、アカザ、ネコギギ、カワムツ、ヨシノボリ…など
- NO.2 川で遊べるところ**
 - ・せきですべり台遊びができるよ
 - ・ちょっと深いところもあるんだよ
- NO.3 川がきれいなおとこ**
 - ・川の中の魚が見えるんだ
 - ・夏は水面がキラキラ光るよ



編集後記

普段生活していると感ずることはありませんが、こうして作成委員会に携わり夏山学区の足跡を振り返りますと、先人たちの英知と努力に感嘆し、また1500年前から脈々と素朴な火まつりを行ってきたことに驚きを覚えます。

岡崎市制100周年となり、新東名高速道路の岡崎東インターチェンジが供用を開始し、2km圏内の夏山学区は利便性が良い学区になりました。

今後も伝統を継承し、豊かな自然を守っていきたくと考えています。

〔作成委員会〕 鈴木泰孝/菅沼健/柵木哲朗/黒屋三郎/
片岡正樹/清水友和/藤井弘朗/片原英夫/小林聡

〔参考資料〕 額田町史/夏山小学校百年の年輪/
ぬかた町文化財めぐり/ふるさと読本ぬかた/
新編岡崎市史【額田資料編Ⅲ】

〔表紙写真〕 小学校にある自然の遊び場「夢山」の水車小屋前に、夏山小学校全児童が集合（2015年9月撮影）



1 三河の古社の一つである夏山八幡宮。拝殿の奥に本殿を構えている



戦争の不安を抱えた中で行われた昭和19年の夏山国民学校の卒業式



2 昭和32年から平成3年まで使用されていた木造建築の旧校舎



3 子どもが10人がかりでも抱えられないほどだった、でいもんの大松



4 昭和49年まで学校の水泳指導も行われていた夏山川のこうとり場



5 自然の中で遊べる小学校の夢山。そのシンボルである水車小屋が完成



6 あじさいの道。毎年6～7月になると人々の目を楽しませてくれる



7 夏山川を覆ってしまう木の伐採をする夏山川環境整備ボランティア

額田郷の中心だった

夏山のなりたち

- Timeline of events from 1919 to 2026, including the founding of the town, school openings, and environmental projects.

額田部貞治卿が天皇の勅勘を蒙り夏山郷を開く

額田部貞治卿によって夏山八幡宮が創建される…1

大化の改新により額田郡を含め八郡の三河国ができる

夏山八幡宮へ源頼朝家臣の梶原平三が代参し永八貫文奉納

夏山八幡宮拝殿建設(棟板による)。獅子頭も制作

奥平仙丸が鳳来寺門谷で処刑される

第四拾壹番小学夏山学校開校

夏山八幡宮拝殿建設

夏山学校校舎新築(夏山東王柿平20)

額田郡尋常小学夏山学校となる

合併により夏山村から巴山村となる。翌年、栄枝村と改称

額田郡栄枝村立夏山尋常小学校となる

夏山尋常小学校校舎を取り壊し校舎を新築する(夏山東王柿平20)

栄枝村は分村、夏山は豊富村に合併する

夏山尋常小学校校舎新築移転(夏山東王柿平17・11)

夏山八幡宮弊帛殿建設(棟板による)

国民学校令により夏山国民学校となる

豊富村立夏山小学校となる

額田町に合併、額田町立夏山小学校となる

夏山小学校校舎新築移転(夏山細田7・1)…2

夏山八幡宮のでいもんの大松が台風で損傷。自衛隊が先端部を除去…3

寺野の大楠が県の天然記念物に指定される

夏山小学校にプール完成…4

開校100年祭式典並びに校訓碑除幕式開催

夏山小学校新校舎完成

夏山小学校の裏にある夢山に水車小屋が完成する…5

夏山小学校に体育館ができる

夏山川沿岸に約1kmのあじさいの道づくりを行う…6

夏山川水辺協議会が発足し、地域と連携した環境教育が推進される

小学校開校130周年記念式開催

岡崎市に合併、岡崎市立夏山小学校となる

夏山子ども守り隊が本格的に活動を開始する

夏山八幡宮拝殿建設

ボランティアにより夏山川環境整備がされる…7

八つの郷で形成された額田郷は夏山が中心だったんです



昭和46年にでいもんの大松は伐採されました…

プールができるまでの水泳指導は夏山川のこうとり場で行っていたんだよ



夏山のこと



夏山は継体天皇の時代、501年に額田部貞治卿が勅勘を蒙り、三河国に来て夏山郷を開きました。戦国時代に入ると、作手の奥平貞久の三男但馬久正が平針に砦を築き、次第に勢力を広めて、3代勝正時代(元亀天正の頃)には度々の合戦で武功をたてました。戦いといえは夏山衆はしんがりを命ぜられるほどの実力があつたと伝えられています。

後に長篠城主となる奥平信昌の弟「仙丸」が武田の人質になりましたが、滝山合戦で武田に反旗を翻し、徳川についたため鳳来寺で処刑。そのさらし首を乳母ら3名が奪い夏山の遊仙寺に葬りました。仙丸にまつわる哀史こそは戦国の華として学区民の心に深く刻み込まれています。また、峰連山の一隈に残る七人塚は、持ち帰った仙丸の首を奪還しにきた武田七士が、黒屋一族によって討たれた場所を示しています。七人塚は夏山人の信義と団結を表す遺跡です。明治に入り、額田県から愛知県に変わると同時に6村が夏山村となり、

さらに巴山村、栄枝村となりました。また昭和には豊富村、額田町となり、平成になって岡崎市となりました。近年では、少子高齢化が顕著で平成27年度の入学児童がたったの1名でした。古い歴史や火まつりなどの伝統継承をする夏山学区では、人口減少が心配されるどころです。

夏山の野鳥

あまり知られていないことですが、夏山には珍しい野鳥がたくさん生息しています。3月と4月はイカルの集団。5月の終わりに3日間ほど鳴くカッコウは、6月の初めに作手の鬼久保広場で約1週間過ごした後に伊那谷へ向かいます。

『月日(星)ホイホイ』と鳴くサンコウチヨウは、5月に多く夏山で営巣します。稀にアカシヨウビンが『キョロロ』と鳴きます。6月の終わりの曇りの早朝、偶然、谷を渡る真っ赤な姿を見たときは感動しました。このような情報を流すとマニアの方々が大勢押し寄せて来そうなので夏山の何処かはシークレットです!



戦国悲話が残る神秘の森へ

夏山の歴史と自然を巡る

戦乱の世に、わずか13歳で命を落とした奥平仙丸。その首を巡って仙丸の乳母や奥平家家臣である黒屋一族が繰り広げた愛と義の物語は、今も私たちの心を熱くします。また夏山には推定樹齢1000年とされる寺野の大楠や、根上がりの大杉といった巨木のパワースポットもあり、奥深い自然も知られています。歴史と自然に彩られた夏山を訪れてみませんか？



B 華蔵院
奥平氏ゆかりの寺。仙丸の首を包んだ血染めの打敷を大切に保管



A 仙丸公墓所(遊仙寺)
奥平方は鳳来寺門前の仙丸のさらし首を奪って手厚く葬ったという



D 夏山城址
夢山の頂上にあったとされる夏山城。写真は近くにある秋葉社の祠



C 七人塚
仙丸の首を取り戻しにきた武田の追っ手を黒屋一族が打ち破った地



COLUMN
夏山小学校

自然を活用した環境学習や理科教育に定評のある小学校。平成13年と14年には、ソニー教育財団「子ども科学教育プログラム」の最高賞・入選プロジェクト校を連続受賞。学校関係緑化コンクール「学校環境緑化の部」では平成22年に県の特選、23年に全日本の準特選に入賞など、実績を残しています。



夏山の登山道

春は山桜、夏は深緑、秋は紅葉など、四季折々の自然を満喫できる登山道を紹介。

① おおだの山往復コース

初心者向け
距離：約3km
所要時間：約40分

② 新嶽山とおおだの森縦走コース

上級者向け
距離：約8.5km
所要時間：約3時間



眺望抜群のおおだの山山頂への往復。道も整備されているので気軽な自然散策にもぴったり。

E 寺野の大楠(薬師堂)
幹周り約10m、根囲27m、樹高36m。県下3番目の大きさを誇る



F 根上がりの大杉(諏訪神社)
樹高は約34m。大蛇がのたうつような様を見せる根の浮き上がりが見事



G 棕の木の山桜
山を覆い尽くすように咲く、美しい山桜。4月上旬頃に満開になる



H 夏山八幡宮の社叢(しゃそう)
幹周り4.2mのスギなどの古木が立ち並び、神秘的な雰囲気が漂う



夏山八幡宮の火まつり

神聖なる炎が闇夜を焦がす



DATA
夏山八幡宮の火まつり
とき 旧暦9月9日現在の10月中下旬頃
に近しい土曜または日曜18時頃より開始
※火の粉が振りかかっても良い服装
でお越しください。

1500年以上受け継がれる 祭りの心と地域の誇り

この火まつりは、夏山八幡宮が創建された当時から豊作と無病息災を願って行われてきた勇壮な神事であり、市の無形民俗文化財にも指定されています。

かつては宵祭りを柿平地区、当日を平針地区が担当していましたが、このごろでは旧暦9月9日に近い土曜日か日曜日の1日のみとなり、隔年ごとに平針・柿平両地区が交互に担当しています。御神火が点火されたソダ山の竹が大音響で破裂するのを合図に、参拝者は鬼が持つ燃え木に恐れ驚きながらも、「ボケ、ボケ」とか「ボケ鬼、ボケ鬼」などと囃したてて鬼を挑発します。鬼も本気で息を切らすくらい追い回します。

地域の人は、この祭りを語るとき、とてもうれしそうになります。「面倒くさいことをやめたりせず、ひとつひとつきちんとやって、今年も神聖な火に打たれ、厄除けをして自分たちの体や土地を清め、幸せで豊作であるように、という願いをこめて火まつりをやるんだよ」と誇らしげに話してくれます。



1 燃えさかる炎。むしろで煽く鬼にも容赦なく火の粉が降り注ぐ 2 鬼を挑発する子どもたち。肩を組んでいれば燃え木を避けやすくなるのかな？ 3 両足で大きくジャンプ。「燃え木に打たれてみたいけど、打たれたくない」という気持ちが、ひしひしと伝わってくる微笑ましい一場面



知って楽しむ 祭りのあれこれ

二つの地区の特徴は？

平針と柿平の2地区が隔年で交互に行う祭りですが、その一番の違いは身につける装束です。平針の面は人の顔に近い表情をしているのに対し、柿平は獅子に近い表情をしています。参拝した際には、是非、面の表情も見てくださいね。



実は準備が大変です

祭りは夕方からですが、準備は1週間前の注連縄と藁細工作りに始まります。また当日のお昼からは氏子が木を伐採してのソダ山作り。鬼役は冷たい滝に打たれる潔斎の後に、御神火の火起こしを行うなど、神事を受け継いでいます。



右:潔斎 左:火起こし

鬼の所作にも注目!!

鬼役は5人いて、交代時には相撲、鈴の舞、薙刀の舞、小刀の目利き、獅子討ちの所作を行います。相撲に勝利、または見本通りの所作ができれば交代し、そうでなければ再度、燃え木を手にして参拝客を追い回すこととなります。



△「褒美に米俵を頂く」

祭りの結束は日頃の協力から生まれます

夏山の地域活動

夏山子ども守り隊

子どもたちが犯罪に巻き込まれないように平成18年に結成。小学生は常時隊員と一緒に下校します。当初は老人会、現在はPTAが運営しています。



守り隊のみなさんの温かい眼差しが、夏山の子どもの登下校の安心と安全を守ってくれています。いつもお世話になり、ありがとうございます。

夏山小学校校長 菅沼健さん



仙丸公墓所の清掃

武田の人質となり、13歳で処刑された仙丸公の墓所。この地区の人(10~15名)が毎月1回の清掃をしながら、墓所の管理をしています。

毎月はじめに柿平地区の老人会で行っています。作業後は集まったみなさんとお喋りをするなど、みんなの笑顔を見られることも楽しみのひとつです。

小林聡さん



平針白山神社参道の清掃

白山神社の参道は1kmもあり、しかも森の中にあります。落葉などで歩きにくいので、この地区の人(10~15名)が毎月1回、清掃をしています。



長年掃除をしているので、落葉の積もり具合が気になります。年2~3回、側溝の清掃時にマムシが出てくるので「かまれなくてよかった」ということもあります!

鈴木葉子さん